



石田ちひろ

日本共産党品川区議団控室 03-5742-6818

新馬場駅南口にエレベーター設置を求める会の請願は趣旨採択

署名運動実る

「さあ、これからだ」
の聲が広がる!

予算審議が中心となる定例議会が進んでいますが、15年度予算で南品川シルバースセンターにお風呂が設置されます。また、エレベーター設置を求める署名(2885筆)が趣旨採択され、地域の要望を取り上げ皆さんと運動した成果が生まれました。二つの前進を、みなさんと喜び合いたいと思います。



「エレベーターの設置がどうしても必要。どうすればよいか」と相談を受けてから一年三ヶ月。京急交渉と対都交渉、アンケートをいただき、区議会への署名運動など「会」のみなさんと一緒に進めた運動が一步前進しました。

京急は不誠実な対応に終始

京急新馬場駅南口にエレベーター設置を求める会の代表から相談を受けたのは昨年1月。「会をつくって運動しましょう」と提案し、京急との交渉が始まりました。

駅周辺では住民が高齢化する一方でマンション住民には小さな子どもを持つ世帯も増加し、北口のエレベーターを使うにも南口とは大型幹線道路と一級河川目黒川を挟み約500mと長い距離。高齢者や障害者、子どもを抱えるママなどにとって行き来の不自由な駅となっています。事態の改善を図るため、求める会では近隣の町会役員の皆さんも参加された回も含め、これまでに三度に渡って京急との交渉を進めました。最初の申し入れでは4月25日付けで「現状では早急な対応は困難」との返書。

「新馬場駅南口にエレベーター設置を求める会」で代表を引き受け苦労されている内田充正氏からコメントが寄せられましたのでご紹介します。



みなさんと一緒に頑張ってきたか
いがあります。娘夫婦が働いており、遅くなる時は孫を保育園まで迎えに行きますが乳母車を降ろすことも出来ません。アンケートでも「高齢者は足元が見えづらく、エスカレーターすら利用が困難で恐怖」とあります。ご近所のみなさんからも「病院通いで使うが娘に付き添ってもらおう。エレベーターがあれば自分で行けるのに・・・」とお聞きし、なんとかならないかと石田ちひろ議員に相談した所、早速京急に連絡を取り交渉が開始されました。署名は2800筆余も集まり感謝しています。請願は趣旨採択でしたが設置まではまだまだ運動が必要です。

内田充正

裏へつづく

京急に申し入れ



二度目の交渉では14名が集まり現地で説明をしてもらいましたが、「返書は設備類にはいっさい手を入れな

い前提で考え

た結論・・・とした旨の返答。真摯に利用者の立場を考えての結論とは到底言えないことがあきらかになりました。

この際の6月5日付け返書は当初と変化し、「調査するのでお待ちいただきたい」旨の内容となりましたが現在までに正式な返答はありません。「会」ではアンケートを取り、切実な状況を東京都にも伝えようと近隣に三千枚を配布。現在までに二百通をこえる声が寄せられました。

他の駅も計画なしが明らかに

9月には白石たみお都議会議員の協力もあり、都市整備局と交渉。「現在の技術水準で、EV設置が困難な駅は少ない。同一駅二カ所でも補助金を出すことは拒むものではない」との返答

がありました。京急にも出向き都との交渉を伝えたところ、「ほかにも付ける必要がある駅が先」との返答。住民から「それはどこの駅でいつまでかかるのか」との追求には明確な返答もなし。結局、まともな計画も持っていないことが明らかになりました。

バリアフリー法は高齢者や障害者、

小さな子どもを抱えながら働く若い世代も等しく平等に社会生活を営むことが出来る社会基盤の整備を目的として法制化されました。そうした中、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、羽田空港から都心への重要な鉄道機関として位置付けられるであろう京浜急行駅が、エレベーター



はおろか下りのエスカレーターもなく、バリアフリー化されていないことを見過ごすわけにいきません。更に大田区から品川区、港区などの湾岸部は東京都の方針で再開発も進んでいます。まちづくりの一貫として湾岸部に住民を呼び込む以上、民間の公共交通機関に

「バリアフリー法の精神に基づき施設整備を・・・」と指導することは重要であって東京都や品川区の責務ではないでしょうか？ 「会」のみなさんとともに引き続き運動を進め、設置まで全力をあげます。

**南品川シルバースセンターに
お風呂の設置が決まる**
運動してきた宇田守利さんから喜びの音が届きました

エレベーター設置を求める会のみなさんの奮闘に敬意を表します。

請願の趣旨採択を聞き住民運動の底力を感じています。私たちの請願は不採択でしたが、筋の通った要求は必ず実現すると実感した15年度予算となりました。運動をおこなった当時、石田ちひろ議員は共産党青年支部長として運動に参加し、私といっしょに署名運動に取組んで

と公約に掲げたの奮闘でした。すずらん通りにあった銭湯が姿を消し、更に東大井2丁目の銭湯も廃業しています。南品川から東大井の広大な地域に一軒も公衆浴場がないという事態となっていますが、今回の予算措置は石田議員の4年間に渡る奮闘の証です。私も区立公衆浴場の設置まで石田ちひろ議員といっしょに頑張ろうと思っています。



5年前に候補者となつてからは「地域に区立公衆浴場を」

宇田守利